

# 福島県田村市立滝根小学校

身近な自然から学びを広げ、つなぎ、地域のよさを発信する滝根っ子の育成

## ふるさとのよさを自分たちで発信!

### 川の環境保全を意識させた出来事

2016年に地域の3校が統合して誕生した福島県田村市立滝根小学校は、豊かな自然に囲まれた場所に建つ。新校舎脇の夏井川は、ヘビトンボやヒラタカゲロウなどの水生生物が棲む清流だ。

2019年3月、この夏井川の浚渫工事が行われた。必要な工事ではあるものの、重機で川底を浚う光景を前に、新6年生は前年に調査した生物が心配でならなかった。居ても立っても居られなくなった彼らは、5月に自主的な再調査を実施。以前と変わらず水生生物がいることがわかり、胸をなでおろした。

この経験で川の環境保全を意識した6年生は、学習テーマを「ふるさと滝根の環境を守ろう」に定めた。学習を進める中で再生可能エネルギーに目を向けた児童は風力発電施設「滝根小白井ウインドファーム」の見学を行った。



修学旅行(仙台3M科学館前)



滝根小白井ウインドファーム見学



H30東日本成果発表会



#### ●実施担当

藤井千絵 教諭

#### ●活動のモットー

「どんなことがわからない?」とか「どうやって調べたい?」と問いかけることで、児童の疑問やアイデアをより深い学びにつなげるよう促している。

### 修学旅行先でパンフレットを配布

滝根小学校区では登下校中に風車が見える。「近くに行って調べたい」という児童の声で風力発電所見学が実現した。

こうした自主的な学びは、統合創立以来、滝根小が続けてきた理科・生活科教育の中心テーマだ。さらに、福島復興の一環として、自らが学んだことを広く発信することにも注力。6年生は修学旅行先の仙台で、滝根地区のよさや学習成果をまとめたパンフレットを配布する取り組みを続けている。

藤井教諭は「最初は恥ずかしがっていた児童も、ちゃんと受け取ってくださる方が多くて手ごたえを感じたようです」と話す。先輩から話を聞いた今年度の6年生は「家族連れにも渡したいから、駅だけでなく動物園などでも配ろう」と話し合い、許可申請も自ら行った。物心がついたときにはすでに風評被害に晒されていた福島の子だが、自分たちで力強く復興への歩みを続けている。

(令和元年度個別助成)



5年夏井川調査

### 学校概要



滝根町にあった滝根小、菅谷小、広瀬小が統合されて創立された。教育目標は「心豊かにたくましく学び続ける子どもの育成」。

設立:2016年

生徒数:172人

所在地:福島県田村市滝根町神俣字弥五郎内28

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索